

シテ同意ヲ表ス尚讀會ヲ省略シテ直ニ可決  
セラレ然ルハシト考フ

十九番(尤鬼) 同意

議長(清浦) 讀會省略ノ發議ニ對シテ賛成アリ

別ニ御發言ナキニ付讀會ヲ省略シテ直ニ採

決セム原案賛成ノ諸君ノ起立ヲ請フ

(全會一致可決)

曩ニ本院ニ御諮詢アリタル朝鮮總督府官

制中改正ノ件八月八日決議上奏ヲ經タル

後同月二十日ヲ以テ公布セラルル前同月

十二日舊官制ノ下ニ朝鮮總督及政務總監

ノ任命アリタルコト及同時ニ本院ノ決議

ヲ經タル朝鮮總督府警察官署官制廢止ノ

件公布ノ際別ニ本院ノ御諮詢ヲ經スシテ

之ト矛盾セル勅令第三百八十九號ヲ發布

セラレタルコトニ照シテ付審査委員間ニ

物議ヲ生レ清浦副議長ヨリ原内閣總理大

臣ニ左ノ如ク其ノ趣旨ヲ認メタルモノヲ

示レテ辯明ヲ求メタリ

一 曩ニ朝鮮總督府官制中改正ノ件ノ  
本院ニ御諮詢アリタル際内閣ニ於  
テハ新官制ニ依リ總督及政務總監  
ノ任敘ヲ奏請スル爲速ニ右件ノ成  
立セムコトヲ希望スル旨陳述セリ  
然ルニ八月八日本院ノ決議上奏ア  
リタル後同月二十日ニ至リテ稍ク  
之カ公布ヲ見其ノ間舊官制ニ依リ  
總督及政務總監ノ任敘ヲ奏請シ後  
テ總督ニ對シテハ在官中特ニ現役

附  
録  
新

ニ列セシムル旨ノ優詔ヲ併セ請フ  
ノ餘儀ナキニ至レリ其ノ結果總督  
ハ新官制ノ下ニ在リテモ仍現役ノ  
地位ヲ保有ス是レ内閣カ急速決議  
ヲ請求シタル趣旨ニ適合セサルノ  
ミナラス又官制改正ノ根本趣旨ニ  
順應セサルモノナリ斯ノ如キハ果  
シテ如何ナル理由ニ依ルカ内閣ノ  
辯明ヲ求ム  
二 同時ニ本院ニ御諮詢アリタル朝鮮

區  
會  
院

附則

總督府警察官署官制廢止ノ件ニ付  
内閣ニ於テハ是レ所謂憲兵警察ノ  
廢止ニシテ今次改革ノ一大要件ナ  
リト説明シ且此ノ制度ハ此ノ際直  
ニ之ヲ全廢スヘキ旨ヲ言明セリ然  
ルニ八月二十日右勅令ノ公布ト同  
時ニ本院ノ御諮詢ヲ經サル左ノ勅  
令公布セラレタリ  
勅令第三百八十九號  
當分ノ内朝鮮總督ハ其ノ定ムル

所ニ依リ朝鮮ニ於ケル憲兵分隊  
又ハ憲兵分遣所在勤ノ憲兵ヲシ  
テ警察官署ニ屬スル職務ヲ執行  
セシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
此ノ勅令ハ一時仍從前ノ憲兵警察ヲ存置  
スルモノニシテ唯前記内閣ノ言明ニ撞著  
スルノミナラス又實ニ本院ノ決議ヲ經タ  
ル案件ニ矛盾スルノ甚シキモノナリ若シ

果シテ此ノ規定ヲ必要トスルノ事情アル  
ニ於テハ何等カノ形式ニ依リ併セテ本院  
ノ御諮詢ヲ奏請スルコト當然ナリ内閣ノ  
措置茲ニ出ラサリシハ明ニ穩當ヲ缺クモ  
ノト謂ハサルヘカラス將來斯ノ如キ行違  
ナカラムコトヲ望ム  
之ニ對シテ本日會議ノ後原内閣總理大臣  
ヨリ左ノ通演述アリ引續キ左ノ通發言ア  
リタリ

五番(原)

本日議案ニハ關係ナキモ此ノ機會ニ

於テ一言シタキ事アリ

先般朝鮮總督府官制ノ改正案本院ニ御諮詢  
アリ既ニ其ノ決議ヲ經テ之ヲ實行レタルカ  
當時政府ノ意衷ニ於テハ朝鮮騷擾ノ後ヲ承  
ケ中外ニ對シテ速ニ改革ノ實ヲ示スノ必要  
アルカ故ニ成ルヘク早ク右改正官制ヲ實行  
スル考ナリレナリ然ルニ朝鮮ニ於テ著シク  
人心ノ安定ヲ缺キ且官吏ノ間ニ動搖ヲ來シ  
一日ヲ緩クスヘカラサルモノアリシカ故ニ  
已ムヲ得ス當時ノ現行官制ニ依リテ總督及

政務總監ノ任命ヲ奏請スルニ至レリ當初本院委員會ニ於テ申述ヘタル通り本院ノ決議アリタル後本業ノ公布ヲ見ル迄ニハ準備ノ為若干ノ時日ヲ要ス然ルニ其ノ間朝鮮官民共ニ動搖ノ虞アリ仍テ先以テ當時ノ官制ニ依リ總督及政務總監ヲ任命シ而シテ新官制ノ實施ニ移ルノ已ムヲ得サル處置ヲ執リタルナリ從テ總督總監ノ身分ノ如キモ當時ノ官制ニ依リ之ヲ定ムルノ外ナカリシ次第ナリ

今一ツ御斷リスヘキ事ハ朝鮮ニ於ケル憲兵警察制度廢止ノ件ナリ元來憲兵警察ハ永久ノ制度ニ非サリシモ種々ノ沿革ヲ經テ恰モ永久ノ制度ナルカ如キ觀ヲ呈スルニ至リ之ニ對シテ種々ノ非難アリ仍テ先般之ヲ廢シ普通ノ警察制度ヲ以テ之ニ代ヘタル次第ナルカ一時ニ全部ヲ入替ユルコトハ實行困難ナルノ事情アリ固ヨリ多クノ土地ニ於テ入替ヲ實行シタルモ或ル土地ニハ警察官ノ執務スヘキ屋舎ナク直ニ之ニ警察官ヲ送ルコト

ト能ハサルノ實況ナリ仍テ土地ニ依リテハ  
一時ノ便法トシテ當分ノ内憲兵ヲシテ警察  
官ノ職務ヲ行ハシムルコトトセリ是レ固ヨ  
リ改革ノ本旨ニ非サルモ事實上ノ故障ニ因  
リ一時ノ便法トシテ特別ノ措置ヲ執リタル  
ナリ當時早ク此ノ事ヲ各位ニ申述ヘ又本院  
ノ議ヲ經ル等適當ノ處置ニ出ツヘカリレナ  
ルモ實ハ總督及政務總監ヲ任命シテ改革ヲ  
實行セムトスルニ當リ始メテ右ノ障害ヲ設  
見レタル次第ナリ尤モ速カラス其ノ必要ナ

キニ至ルヘキカ當時ノ事情ヲ申述ヘテ各位  
ノ御諒察ヲ請フ尚將來斯ノ如キ行違ヲ生セ  
サル様注意スヘシ當時ノ事情ハ或ハ既ニ大  
要御諒解アリタルナラムモ此ノ機會ニ於テ  
一言辯明ス  
二十一番(金子) 唯今總理大臣ヨリ過般朝鮮總  
督府官制改正ノ件本院ノ決議アリタル後尚  
舊官制ニ依リテ總督及政務總監ヲ任命セラ  
レタル事情ニ付縷々辯明アリ固ヨリ政府ニ  
モ種々事情アリレナラムモ樞密院ニ於テ一

ノ官制カ時勢ニ順應セズ宜シク之ヲ改正ス  
ヘレト爲シテ決議上奏シタル後即チ舊官制  
ノ廢止ヲ決議上奏シタル後尚舊官制ノ下ニ  
總督ヲ任命セラレタルカ如キハ本院ノ關係  
ニ於テ未タ嘗テ其ノ先例ナシト信ス將來斯  
ノ如キ例ヲ開クコトハ如何カト思フ今後ハ  
本院ノ可決上奏アリタル後其ノ發布ヲ待チ  
テ官吏ヲ任命シ其ノ他著々政務ヲ實行セラ  
ルルコト穩當ナリト考フ此ノ件ハ本院ノ態  
度ニ關スルコトト認ノ一言申述フル次第ナ

リ

五番(原) 普通ノ場合ニ於ケル事務ノ進行ハ一

ニ金子顧問官所説ノ如シ乍併本件ノ委負會

ニ列席セラレタル諸君ハ御承知ノ事ト思フ

カ當時米國其ノ他諸方面ノ非難ニ對シテ速

ニ相當ノ措置ヲ講セサルヘカラス之カ爲單

ニ宣言ノミニテハ不十分ニシテ實際ニ改革

ノ實ヲ示スノ必要アリ仍テ成ルヘク速ニ改

正官制ヲ決議セラレムコトヲ希望シタルナ

リ而シテ改正官制ヲ實施スルニハ其ノ準備

ノ為多少ノ日子ヲ要スルモ本院ノ決議ヲ經  
サレハ其ノ準備ニ著手スルコト能ハサルカ  
故ニ旁速ニ決議アラムコトヲ希望シタル次  
第ナリ然ルニ其ノ決議迄ニ本院ニ於テ約四  
十日ヲ賞シタリ其ノ間前任ノ總督及政務總  
監ハ責ヲ引キテ辞表ヲ提出シ又朝鮮ノ間民  
間ニ動搖ヲ生シタリ此ノ場合前任者ヲシテ  
新官制實施ノ準備ニ當ラレムルコトヲ得ヌ  
不得已舊官制ノ下ニ總督及政務總監ノ任命  
ヲ見タルナリ是レ遺憾ナル次第ナルモ國政

上已ムヲ得サリシ事情ヲ諒承セラレムコト  
ヲ請フ固ヨリ好テ為シタル處置ニ非ス右様  
ノ事情ニ逢著シ餘儀ナクシテ事此ニ出テ夕  
ルナリ

三十三番(一) 唯今朝鮮總督府改正官制發布

前後ノ事情ニ付縷々説明アリ其ノ第一ノ點  
ニ付テハ金子顧問官ノ陳述ニ對シ重ホテ總  
理大臣ノ辨明アリ當時本官等ニ於テモ官制  
決定後實施ノ為相當ノ準備ヲ要スヘキコト  
ヲ諒承セシカ故ニ本院ノ決議後公布迄ニ數



日ノ時日ヲ經過セルコトニ付テハ固ヨリ何等ノ疑ヲ挾マズ唯新官制ノ決定後其ノ實施準備ノ為幾千ノ日子ヲ要スルカヲ詳ニセサルモ其ノ間内部ニ於テ必要ナル準備ヲ整ヘ發布ト同時ニ表面ノ手續ヲ取ラルルコトト豫期シタルニ發布前既ニ總督ノ任命アリタルハ甚タ意外ナリ其ノ後數日ニエテ發布アリ其ノ間僅ニ數日ニ過キス朝鮮ニ於ケル人心ノ不安ヲ鎮靜スル為總督ノ任命ヲ急キタル事ナルカ僅々數日ノ遲速力之カ為何程ノ

推察院

效果アリシカ疑ナキ能ハサルナリ然レトモ此ノ點ハ畢竟所見ノ相違ニ歸者人ヘキカ故ニ強テハ主張セサルヘシ本官ノ特ニ聞カムト欲スル所ハ朝鮮ニ於ケル警察制度改正實施ノ際本院ニ御諮詢アリタル案ハ即刻憲兵警察ヲ廢止セムトスルモノニシテ當時本官等ハ其ノ實行ノ能否ニ付多少ノ疑ヲ抱キタルモ政府ニ於テ即刻之ヲ實行スルノ決心ナリト承リ原案ニ同意シタル次第ナリ然ルニ愈其ノ實施ノ際列ニ勅令ヲ出タレテ當分ノ内

通覽

憲兵ヲレテ警察官ノ職務ヲ行ハシムルコト  
ト爲レリ其ノ事情ハ諒承シタルモ前案ハ即  
日廢止ヲ定メ後案ハ當分存續ヲ定ムルモノ  
ニレテ前後其ノ内容ニ於テ正シク相牴觸セ  
リ斯ノ如ク内容ヲ異ニスル案ヲ發布スルニ  
當リテハ更ニ本院ニ諮詢セラレ然ルハキモ  
ノト考フ唯今迄ノ總理大臣ノ説明ハ此ノ點  
ニ及ハサルカ故ニ一應承リタシ  
五番(原) 憲兵警察ヲ廢止スルノ趣旨ニ於テハ  
政府ハ始メヨリ同一ノ意見ニシテ何等牴觸

スル所ナレ唯實際警察官ヲ以テ憲兵ニ代フ  
ルニ付第一ニ困難ヲ感ヒタルハ土地ニ依リ  
テハ警察官ノ職務ノ場所ナキ事ニレテ憲兵  
屯所ヨリ憲兵ヲ追ヒ出タスニ非サレハ警察  
官ノ職務ノ場所ナレト云フカ如キ有様ナリ  
仍テ不得已一時的處置トレテ憲兵ヲレテ警  
察官ノ事務ヲ行ハシムルコトトシタルナリ  
是レ決シテ希望スヘキ趣旨ニ非サルモ差向  
キ巴ムヲ得スレテ斯ノ如キ便法ヲ講ヒタル  
ノニシテ固ヨリ憲兵警察ヲ廢止スルノ本

旨ニ抵觸スルモノニ非ス當時委員會ニ於テ  
 本案審議ノ際此ノ次第ヲ説明スルカ又ハ併  
 セテ御諮詢ヲ奏請スルノ途ニ出ツヘカリシ  
 ナルモ實ハ新總督以下任命ノ後警察官ヲ以  
 テ憲兵ニ代ハムトスルニ至リ始メテ之ヲ裁  
 見シ一日ヲ空シクスルコト能ハサルニ因リ  
 不得已右ノ處置ヲ取リシ次第ナリ  
 三十三番(一木) 唯今重ネテ説明アリ當時已ム  
 ヲ得サル事情アリシコトハ能ク諒承セリ唯  
 當初本院ノ決議ヲ經タル案ニ對シ別案ヲ以

テ例外ヲ設ケ又ハ其ノ内容ヲ變更セムトス  
 ルトキハ道理上更ニ本院ノ御諮詢ヲ奏請セ  
 ラルヘキト認ム此ノ點ニ付テハ政府ニ於テ  
 モ同意見ナルモノト認メ之レ以上論議ヲ費  
 ササルヘシ  
 二十二番(末松) 先刻總理大臣ノ説明中ニ委員  
 タル人々ハ承知セル筈ナリトノ言葉アリシ  
 カ本日ハ委員中数名出席セルカ故ニ之ニ對  
 シテ一言ノ辯明ナキヲ得サルナリ  
 當時本官等カ教田ノ會議ニ於テ感得レタル

所ハ總理大臣カ今日本官等ニ諒解セシメ  
トセラルル所トハ大ニ異ナルモノアリ當時  
本官等ノ諒解シタル趣旨ノ一端ヲ云ハハ速  
ニ新官制ヲ出タサケレハ總督ヲ任命スルコ  
トヲ得スト云フニ在リナリ乍併新官制ノ  
實施ニ付テハ種々ノ事情アルヘク又世上彼  
是ノ風説アリ本日ノ會議ニ於テ總理大臣カ  
陳述セラレタル所ハ當時政府ノ處置カ理義  
ノ上ニ於テ是トスヘキモノニ非ストノ趣旨  
ヲ諒解セシムル爲ノ演述ト認ノ必スシモ固

拙  
密  
際

執セラレサルコトヲ感服ス故ニ必スシモ當  
時ノ諒解ニ基キテ深ク論議スルノ必要ナレ  
若シ總理大臣ニ於テ委員會ノ諒解云々ヲ固  
執セララルルナラハ本官等ニ於テモ一段歩ヲ  
進メテ論究セサルハカラサルモ其ノ次第ニ  
非ストノ事ナレハ今日ハ事情ヲ諒承レ將來  
斯ノ如キ行違ナキコトトシ本院ノ立場ヲ保  
ツヘキナリ委員會ノ諒解云々ノ義ハ總理大  
臣ノ演說中ニ一應表ハレタルノニシテ強  
テ徹底的ニ斷言セララルニ非サレハ其ノ儘

區  
會  
院

聞キ流スコトトスヘ

五番(原) 余ハ委負會ニ於テ新官制ノ發布前ニ

若干ノ時日ヲ經過スヘキ旨ヲ説明シタルコ

ト申述ヘタルナリ舊官制ノ下ニ總督等ヲ任

命シタルハ當時朝鮮ノ人心安定ヲ缺キ官吏

モ落著カサルカ如キ實狀ニシテ前途分明ナ

ラサル官吏ヲシテ新官制ノ準備ニ當ラシム

ルコト困難ナリ官吏ノ選任ノ如キモ前任者

ヲシテ之ヲ為サシムルコトヲ得ス又後任者

ハ自己任官ノ發表前ニハ表面ニ立チテ事ニ

當ルヲ得ス此等ノ事情ニ因リ不得已彼ノ如

キ處置ヲ取リタルナリ

議長(清浦) 朝鮮總督府官制改正ノ件ニ付總理

大臣ヨリ其ノ施行上當時已ムヲ得サリ

情ヲ陳述セラレ之ニ對シテ顧問官中ヨリ議

論アリタルモ要スルニ總理大臣ノ縷々陳述

セラレタル中ニ當時ノ事情ハ諒承セラレタ

レ乍併斯ノ如キハ遺憾ナリトノ語句アリ又

憲兵警察廢止ノ件ニ付テハ總理大臣ヨリ將

來注意スヘシ云カノ言葉アリ仍テ此ノ件ハ

之ニテ結了スルコトトセム  
本日ハ之ニテ散會ス

(午前十一時二十分閉會)

副議長子爵清浦奎吾

書記官長ニト歩兵

書記官

村上恭一

勅令

號

對敵取引禁止令ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢  
ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ同盟及聯  
合國ト獨逸國トノ平和條約ニ伴フ工業所有權  
ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽